

**平成27年度**  
**東京大学大学院工学系研究科博士課程学生特別RA制度**  
**(SEUT A・Bタイプ共通) 申請書 (4月採用分)**

## 1. 申請者情報等

## (1) 申請者情報

(フリガナ) 氏 名					申請タイプに <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B
現在所属専攻	専攻		学籍番号	37- (まだ入学していない場合は受験番号)	
博士課程入学年月 (予定を含む)	年	月	学年	年次	国籍
(2015年4月時点の予定)					
連絡先	内線番号	E-MAIL			
現在の指導教員	所属部局 (工学系、生研等)				
	氏 名	職名			
2015年4月時点の 指導教員予定者 (現在と変更になる場合のみ記入)	所属部局 (工学系、生研等)	専攻			
	氏 名	職名			

## (2) 研究課題

--

## (3) 奨学金等受給状況 [2015年4月現在の手取り月額(予定額)]

日本学術振興会特別研究員 月額 円	日本学生支援機構奨学金 月額 円
国費外国人留学生 月額 円	外国政府奨学金：(奨学金名を記入) 月額 円 授業料の補助(東大の授業料免除は除く)： <input type="checkbox"/> 有(金額を記入) <input type="checkbox"/> 無
RA 月額 円	
TA 月額 円	その他・民間奨学金：(奨学金名を記入) 月額 円 授業料の補助： <input type="checkbox"/> 有(金額を記入) <input type="checkbox"/> 無
プロジェクト給与(プロジェクト名を記入) 月額 円	
工学系研究科技術補佐員又は事務補佐員として 雇用 月額 円	個人番号

**2. 現在までの研究状況** (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))

- ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
- ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①に記載したことと関連づけて説明してください。  
なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

(現在までの研究状況の続き)

### 3. これからの研究計画

#### (1) 研究の背景

2. で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

(2) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関 (外国の研究機関等を含む。) において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載してください。

申請者氏名 \_\_\_\_\_

### (3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

### (4) 年次計画

年次毎に記載してください。元の枠に収まっていれば、年次毎の配分は変更して構いません。

(博士課程 1 年目)

(博士課程 2 年目)

(博士課程 3 年目)

申請者氏名

4. 研究業績（下記の項目について申請者が**中心的な役割を果たしたもののみ**項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。業績が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。査読中・投稿中のものは除く）

- ① 著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入し、著者の所属・職については脚注に記載してください。
- ② 採録決定済のものについては、それを証明できるものを P.7 の後に添付してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください。）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に〇印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。その場合は、それを証明できるものを P. 7 の後に添付してください。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載してください。発表申し込みが受理されたものを記載する場合は、(3)と同様に証明できるものを添付してください。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）

(6) その他（受賞歴等）

申請者氏名 \_\_\_\_\_

## 5. 自己評価

申請者本人による自己評価を次の項目毎に記入してください。

- ① 研究職・技術職等の工学に関わる職を志望する動機、目指す研究者像・技術者増等、自己の長所等
- ② 自己評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など。GCOE等における活動状況も含む。）

申請者氏名 \_\_\_\_\_